

East London

ショップ

コロンビアロード ロンドン



ショップについて

今、ロンドンでもっとも熱いコロンビアロードにあるリンダ&カリーのショップ「Queenie and Ted」は、古着やアウトレットのジャケットに、アンティークのレースやボタン、アップリケを装飾するなどリメイク商品を扱っています。斬新なアイデアがロンドンっ子はもとよりアメリカからのリピーターもひきつけています。



2人の出会い

もともと大学で美術を専攻していたリンダとカリー。二人の出会いは美術講師をしていた学校です。ある日、カフェテリアで生徒に教える以外に何かできないかと、二人でおしゃべりをしていた時に、カリーが古着をリメイクし、活用する事を思いついたそうです。ビンテージのテーブルクロスやランチョンマットを服とドッキングさせて、着るだけで明るい気分になれる服作りを得意としていた二人は、ついにブランドを立ち上げます。



庭先の工房

二人の工房はリンダさんの自宅敷地内にある離れの小屋です。以前はガーデニングなどの道具を保管していたシェッド（収納小屋）でしたが、ご主人や友人の手を借りて綺麗に改装され、沢山の生地や古着、ジャケットで埋め尽くされた夢の工房。広い作業机、ミシンが置かれ、そこで二人は古着をリメイク、装飾をして、仕上げを行います。



イーストロンドンの歴史

ロンドン東部の下町エリア“イースト・エンド”。以前は、移民労働者が多く住む殺伐とした治安の悪いエリアでした。今では若手アーティストたちが、廃墟となった工場や倉庫など広いスペースとより自由な環境を求めて東に移動し始めました。東ロンドンは彼らにとって、格好のワーキングスペース兼スイートホームなのです。